

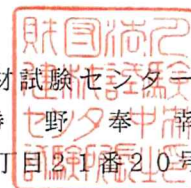


受付第04A1531号
受付日：平成16年 8月31日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成16年10月29日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 夕 奉 中 幹
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社ポラス暮し科学研究所 所在地：埼玉県越谷市東町2-266-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用梁仕口金物 商品名：高耐力両引き羽子板ボルト 用途：梁の仕口に使用する金物 寸法：厚さ6.0mmの鋼板にパイプ鋼を溶接したもの(図-2参照) 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 2. 接合具 梁取付用：ビス TB-65 (2本) 寸法；φ5.5×65mm(ねじ部53mm)，材質；SWCH 22K (JIS G 3539) 谷の径；3.2mm，ねじ先の形状；とがり先 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 六角ボルト：寸法；M12×340mm，材質；SWRM 10 (JIS G 3505) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 (JIS H 8610 及び JIS H 8625) ルーズ穴座金：寸法；φ58，厚さ；6.0mm，材質；SPHC (JIS G 3131) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 3. 軸組 梁：樹種；べいまつ，寸法；105×105mm 4. 試験体数 6体 (注) ボルトは，ルーズ穴座金の芯に取り付けている。(図-1参照) 参照：図-1 及び 図-2 (試験体)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計(監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター)の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 ($P_0.t$) : 17.6 kN 耐力算定の基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3 及び 図-4 破壊状況：写真-1 ~ 写真-6
試験期間	平成16年 9月30日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 修 試験実施者 早崎 洋 一 赤城 立 也
試験場所	中央試験所